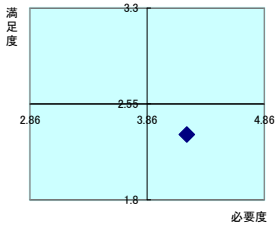
平成 22 年度　2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	11	高齢者や障がいのある人などの権利を守る	評価責任者（基本施策主管課長）	介護高齢福祉課長 植田　美由喜

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		
	基本目標	平　　等
	政　　策	すべての人の権利が保障されるまちづくり

① 市民意識調査結果		②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果 市民意識調査では、必要度は平均より高く、満足度はかなり低い。 のことから、介護の必要な高齢者や障がい者の人権の保障が十分でないことが分かる。
③ 基本施策の現況と課題	認知症高齢者や障がいのある人等が、住み慣れた地域で安心して生活するには、悪徳商法による被害や虐待などの権利侵害から守られ、問題解決する推進体制が必要である。 また、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度の利用促進を進めなければならない。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	成年後見制度や、地域福祉権利擁護事業の啓発周知を行い、それらの制度を利用することで、高齢者等を権利侵害から守る。 引き続き啓発周知を拡大し、より一層の利用を目指す。	

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード	考えられる基本施策指標候補	重点化
成年後見制度の利用	成年後見市長申立て	1

	基本施策指標名		単位	過年度実績 H20	過年度実績 H21	評価年度 H22	目標値 H25	目標値 H30	ベンチマーク	指標の説明
1	成年後見市長申立て件数	目　標	件	5	5	5	6	8		
		実　績	件	2	3					
		達成率	%	40.0	60.0					
		目　標								
		実　績								
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
		目　標								
		実　績								
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					
		目　標								
		実　績								
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!					

⑥基本施策構成事務事業の評価

	基本施策を構成する事務事業名 担当課	ＩＤ	事　業　名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円） H21　決算額	H22　予算額	H23　所要額	重点化
1	健康福祉部 介護高齢福祉課	264-01	伊賀地域福祉後見サポートセンター運営事業		5,220	5,220	5,220	
2	健康福祉部 介護高齢福祉課	264-02	地域福祉権利擁護事業補助金		1,140	1,272	1,272	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
			（ 以下　続紙 ）					
			事業費　合計		6,360	6,492	6,492	

⑦　⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等
成年後見制度利用支援事業	伊賀市	成年後見市長申立てに係る経費及び後見人報酬の助成

⑧　基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1　基本施策指標の分析	権利を侵害されやすい高齢者や障がいのある人を守るためには大切なことである。
2　事業構成の適当性（手段として最適か？）	判断の能力が不十分な状態になっても、住み慣れた地域で、安心な生活を続けることができる。 また、市長申立てについては、本人の費用負担能力に応じ徴している
3　役割分担の妥当性	判断能力が不十分な高齢者等を支援し、成年後見などの申立てができる親族等がいないときの、公的な保障として市が行うべきである。
4　総合評価（今後の展開、事業の見直し等）	今後益々判断能力が不十分な一人暮らしの高齢者が増える見込みの中で、権利擁護事業の利用者も増加する。 現在の一律に行っている利用助成（地域福祉権利擁護事業補助金）も、能力に応じ利用者の負担も検討すべきである。